

## サカハチチョウ

*Araschnia burejana*

兵庫県：要注目

環境省：－

### 種の概要

前翅長20～25mm程度。翅の表面は春型と夏型で異なる。春型は表が黒色と褐色を主とした斑紋があり、裏は赤褐色で複雑な黄線が走る。夏型は表は黒色で、中央に白帯があり、裏は赤褐色で、白色の帯がある。低山地から山地の広葉樹林を生息場所とし、4月中旬から9月にかけて2～3回発生する。



写真提供：刈田悟史

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、佐度、隠岐

### 県内分布記録

神戸市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、西脇市、多可町、姫路市、市川町、神河町、相生市、上郡町、赤穂市、宍粟市、佐用町、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市、丹波篠山市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

### 特記事項

#### 新規追加種

近年シカの食害の影響を大きくうけた種。西播磨から但馬にかけて広く分布し、個体数も多い種であったが、生息域、個体数が急激に減少した。

### 保護上の留意点